2018/2/26版

【論文の種別】**論文の種別を記入してください（原著，資料，総説，実践報告，特別論文，その他）**

**日本語タイトル日本語タイトル日本語タイトル日本語タイトル日本語タイトル**

English Title English Title English Title English Title English Title English Title English Title

**英文タイトルの単語の先頭はすべて大文字（行中の冠詞と前置詞と接続詞を除く）**

Key words : keyword, keyword, keyword, keyword

キーワード : キーワード，キーワード，キーワード，キーワード  
**キーワードには，日本看護管理学会「看護関連用語集」（ホームページにて会員限定公開中）の言葉を優先的に使用してください．**

Abstract

English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract English Abstract  
**英語のAbstractは，200語以上250語以内とする．原則として過去形で述べ、ネイティブ校正を受けてください．**

**以下，句読点（全角とする）は「，．」で統一してください．**

要　　旨

研究の目的は完結に記載してください．調査研究では対象者に関する情報（急性期教育病院5施設の経験年数2年目以上の看護職など）を含めてください．質問紙調査では，使用した尺度，人数，回収率を述べてください．検定結果はｐ値だけでなく，平均値など実値が分かるように記載してください．考察では，結果の解釈など本研究結果から明らかになったことを記載し，直接的に述べることのできない著者の意見は控えてください．

**和文要旨の1行は全角40字相当とし、全文字数は全角換算で500字以上600字以内とする．**

**原稿は，本文及び図表，文献を含め，16,000字以内とする（図表の大きさを考慮し，文字数を換算してください）．和文はMS明朝，英文はTimes New Romanとする．**

**査読は二重匿名で行いますので、著者が推測されるような文言や表現は避けてください．**

# I. ．緒言

　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言　緒言

# II. 目的

　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的　目的

# III. 方法

## 1. 用語の定義

用語の定義　用語の定義　用語の定義　用語の定義用語の定義　用語の定義　用語の定義　用語の定義

## 2. 質問項目

### 1) 属性

　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性　属性

### 2) 質問項目１

　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１

## 3. 対象と調査方法

　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　対象と調査方法　　対象と調査方法　対象と調査方法

## 4. 解析方法

　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法　解析方法

## 5. 倫理的配慮

本研究は，●●●大学倫理委員会**（投稿原稿では，大学名、病院名等は伏せてください）**の承認を受けて実施した．調査への協力は自由意志にもとづき，回答しなくても不利益を受けることはないこと，結果は統計的に処理し個人が特定されることはないこと，調査票およびデータの管理は厳重に行うことを説明書に明記し，回答をもって同意とみなした．

# IV. 結果

## 1. 回答者の属性

　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性　回答者の属性

## 2. 質問項目１

　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１　質問１

# V. 考察

## 1. 考察１

　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１　考察１

## 2. 考察２

　考察2　考察2　考察2　考察2　考察2　考察2　考察2　考察2

# VI. 結論

　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論　結論

**・謝辞は，匿名査読時には不要ですので，採択後に記載してください．**

**・研究助成や修士論文，学会での発表等も，採択後に記載してください．**

引用文献

Fagin, C. M. (2000)／竹花富子（2002）. フェイガン　リーダーシップ論. 東京：日本看護協会出版会．

Hammond, K. R., & Adelman, L. (1986). Science, values, and human judgment. In H. R. Arkes & K. R. Hammond (Eds.), Judgement and decision making: An interdisciplinary reader (2nd ed.) (pp. 127-143). Cambridge, England: Cambridge University Press.

厚生労働省(2013). チーム医療の推進について（チーム医療の推進に関する検討会 報告書）. (2014年5月3日, http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/03/dl/ s0319-9a.pdf)

Lucero, R.J., Lake, E.T., & Aiken, L.H. (2010). Nursing care quality and adverse events in US hospitals. Journal of Clinical Nursing, 19, 2185-2195.

佐々木美奈子, 菅田勝也 (2011). インシデントから学ぶ組織学習を支える態度・行動測定尺度の開発. 日本看護管理学会誌, 15, 29-38.

田尾雅夫，久保真人 (1996). バーンアウトの理論と実際―心理学的アプローチ. 東京：誠信書房．

図1. 質問紙使用項目と探索的因子分析結果

**・図表はオンライン投稿時にファイルをアップロードしてください．**

**（1ページに複数の図表が入っても構いません）**

**・図表番号，タイトル，キャプションはファイルにも記載してください．**